



第2820地区

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2009~2010

下館ロータリークラブ会報



2009年10月14日 2151号 (2009.10/7例会報告)



金木屋(きんもくせい)

- 会長 奥沢 裕二 幹事 諏訪哲也
- 例会場 ダイヤモンドホール
筑西市玉戸1053-4 TEL 0296-28-8511 FAX 0296-28-8533
※欠席の場合は午前10時までに連絡願います。
(食事の無駄を発生させない)
- 例会日時 水曜日 12:30~13:30
- ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>
- クラブ会報委員会 委員長 小島ゆり
委員 正根寺幸雄・堀江清彦

10月14日のプログラム

プログラム委員会 渡辺進 委員長

1. 点鐘・開会
2. ロータリーソング
3. お客様紹介
4. 会長挨拶 (奥沢会長)
5. 食事
6. 委員会報告
7. スマイルBOX報告
8. 卓話 水戸保護観察所所長 荒木 龍彦氏 テーマ: 更正保護制度60周年「更正保護について」
9. 点鐘・閉会

出席報告

出席委員会 根岸隆男 委員長

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
10月7日	51	39	9	3	5

会長挨拶 奥沢裕二 会長

先週は、筑西市内の中学生による第16回筑西市少年の主張大会に出席し、下館ロータリークラブ会長賞を授与して来ました。少年14名による主張と熱弁はすくすくと成長していることを証明していると実感しました。受賞作初澤君の「兄弟」は、障害をもつ弟との絆が明るく逞しく生きる兄弟愛を力いっぱい主張していました。また夜の例会においても多くの会員のご出席いただきました。美味しいおつまみと飲み物でロータリーを話題に会員相互の親睦と、友情が図られた例会でした。先日、下館国際交流友の会による外国人のための日本語教室第33期閉校式に出席して来ました。1日の恒例の赤い羽根共同募金には、早朝よりロータリアンとして奉仕に多く参加し、大変ご苦労様でした。今月は米山月間、職業奉仕月間に入りいろいろ卓話がプログラム予定されており、楽しみにしています。第2820地区パストガバナー齋藤隆様をご逝去されたとの訃報が届いております。ご冥福をお祈りいたします。

理事会・幹事報告 諏訪哲也 幹事

【理事会報告】

1. 11月プログラムを承認しました。
2. 水戸好文RC認証伝達式に諏訪幹事が出席することを承認しました。
3. 母子島桜の木及び米山記念館梅の木の剪定、伐採費用を承認しました。
4. 例会休会時の緊急連絡について承認されました。
5. 第2820地区、齋藤隆パストガバナー（日立RC）様の香典を郵送しました。
6. 第2820地区ガバナーノミニー選挙について投票の承認をいたしました。
7. 第2回日台親善会議参加の承認をしました。
8. 井狩会員よりお借りしているRC事務所の備品整理について、整理担当の荒川洋一会員に一任しました。
9. 会長より上程された、退会予防特別会員の処遇については継続審議となりました。
10. 会長より上程された、在籍30年以上、3年以内に退会された方への感謝状贈呈に関する件については、臨時総会を開催することとしました。

【幹事報告】

1. RIよりRI加盟承認50周年の賞状が届きました。
2. 日向野会員より連絡がありました下館駅南口ロータリー広告塔の三面表示貼り替え工事見積書が届きました。
3. SAAより今後の例会タイムスケジュール説明がありました。
12:30～12:32 点鐘・ロータリーソング
12:32～12:37 会長挨拶
12:37～12:55 昼食
12:55～13:00 幹事報告・委員会報告
13:00～13:27 プログラム
13:27～13:29 次週予告・出席報告
13:29～13:30 点鐘
4. 第16回筑西市少年の主張大会に係るお礼の手紙が届きました。

卓話 米山奨学記念委員会 司代隆之 委員長

10月米山月間によせて

昨年は28名、今年度は30名の奨学生を迎えました。前年同様に寄付額をお願いしております。筑波大、茨城大、流通経済大の3校が指定校になっており、下館クラブは中国在籍の陳莉さんです。性格も明るく日中貿易の発展だけでなく、日中文化の交流ないし日中友好に努めたいと力強く語っております。どうかよろしくお願い申し上げます。



私は、中国江蘇省蘇州市出身です。蘇州は小川や小橋に有名で、「東方のベニス」とも呼ばれる、世界でも有名な観光地です。「蘇州庭園」は世界遺産にもなっています。私は一人子なので、父、母を入れて3人家族です。将来日本語の通訳になりたいという夢を持ち、「中国一の美しいキャンパス」とも言われるアモイ大学に入学し、日本語の勉強を始めました。大学で日本語だけではなく、日本の歴史文化なども幅広く学びました。そして、自分が好きな日本のドラマやアニメを見て、日本語の美しさ面白さを味わうこともでき、日本に対する興味がますます大きくなってきました。日本へ留学に来たのは、2007年のころでしたが、現在私は筑波大学システム情報工学研究科経営・政策科学専攻MBA課程に所属しています。学校で、マネジメントやマーケティング、ファイナンス分野に関する専門知識を学んでいます。ゼミでは、ベンチャー企業の創業と成長に関する研究を行っています。研究のために、たくさん本を読んだり、アンケート調査やヒヤリング調査を行ったりして、とても忙しい日々を過ごしています。卒業後は日本で就職します。私は日中ビジネス関係の仕事に就き、あらゆる「プロ」を目指して頑張っていきたいと思っております。日中ビジネスの架け橋としてだけでなく、日中友好のためにも努めたいと思っております。

スマイルBOX・祝い事 スマイルBOX委員会 須藤義定 委員

新井 利平 9月22日に娘が大阪に（結婚）行きました。一人一人家族が減り淋しくなって参りました。渡辺 進 司代さんの卓話を楽しみにしています。中西 悦夫 10月11・12日にアルテリオ前広場でアートフェスタが行われます。ロータリークラブも後援しており、メイクにもなりますのでぜひお越し下さい。鈴木 光則 娘が大学に合格しました。司代 隆之 10月は米山月間です。なにかと出費が多く心苦しいですが、どうか宜しく願い申し上げます。大関 幸政 10月は米山奨学基金月間です。宜敷くご協力お願いします。又司代隆之委員長の卓話を楽しみにしています。

パートナー誕生
結婚記念日
本人誕生

川連秀典
須藤義定
新井和雄・小林一彦・鈴木光則・早川誠二



本日(10/7)の合計40,000円 / 累計469,000円

メイクアップ 出席委員会 根岸隆男 委員長

9月24日 下館ロータリーアクトクラブ 小林一彦・鈴木光則
9月27日 下館薪能実行委員会 早瀬浩一
9月29日 国際交流友の会閉校式 奥沢裕二・諏訪哲也
9月29日 下館紫水ロータリークラブ 中西悦夫
9月30日 筑西市少年の主張大会（下館西中） 奥沢裕二・諏訪哲也・大林稔・新井利平・加藤昌美・小林一彦・早瀬浩一・溝口明洋
10月1日 赤い羽根募金運動（下館駅） 奥沢裕二・諏訪哲也・中丸健・古田貢一・新井雅勝・小島ゆり・日向野陽・川連秀典・小葉拓巳・永盛宣也・早瀬浩一・新井利平・正根寺幸雄・大林稔・滝田昌甫・加藤昌美・菌部浩重・細谷貢・関谷徹・司代隆之・田中忍
10月1日 筑西きぬロータリークラブ 中西悦夫

第16回 筑西市少年の主張大会 下館ロータリークラブ会長賞

協和中学校2年 初澤直樹 君 「兄弟」 ※提出された原稿をそのまま掲載させていただきました。

僕の弟は、生まれつき「脳性麻痺」という脳の病気にかかっています。手足を上手に動かす事は難しいです。しかし、何でも自分でやろうとします。そんな弟を僕は、「障害」を持っている弟としてではなく、普通に生活できる弟として見守っています。僕が小学校六年の時、弟は小学校四年で、養護学校に通っていました。ある日、弟は足を少しでも良くしようと手術を受けました。手術の一週間前、弟と母親は手術を行う病院に入院しました。いつもなら、僕が学校から帰って来ると、「ゲームやろう。」という元気な声が、静まりかえった部屋に吸い込まれました。弟とは、いつもケンカばかりしてうるさい時がほとんどです。弟がいない家は、僕のため息とゲームの効果音しか聞こえてきませんでした。弟が入院している間、とてもつまらない日々を送りました。弟が手術を終えて、もどって来ました。笑いが響く中、退院パーティーを開き、弟は口いっぱい手巻き寿司をほおぼって笑っていました。そして、次の日またケンカしてゲームしての日々が始まりました。弟はサッカーゲームで楽しそうに僕と遊んでいました。また、普通通りの生活にもどった安心感と喜びがありました。僕は、弟が入院している間、ずっとある事を考えていました。それは、次の二つです。「障害があっても不自由そうなのに、どうしてあんなに元気いっぱい頑張れるんだろう。」それと、「何故弟が障害を持って生まれてしまったんだろう。」この二つをベッドに横になりながら、ずっと考えていました。弟が帰ってきたら聞こう。と思っていたので、聞いてみました。すると弟は、「仕方ないじゃん。」と言って、またゲームを続けた。本当に予想もつかなかった答えでした。僕は、何も返せずに次の日を迎えました。次の日、もう一度弟に質問しました。「障害があっても、不便じゃないか？」と。すると弟は「別に。」すかさず、僕が「楽しいか？」と。「楽しい。養護学校でね…」と、楽しいことばかりしか口にしませんでした。その時僕は、ただひたすらすごい。と思いました。すごいだけではわからないと思いますが、すごいとしか思いようがありませんでした。弟は、「障害」という不自由をかかえながら、とても元気に楽しんでいます。もし、僕が「脳性麻痺」で弟と同じ障害を持っていたら、絶対に辛いと思います。そんな弟から、僕はたくさんの元気、力、喜び、楽しさ、頑張る事の大切さを何度も何度ももらっています。僕が中学二年、弟が小学六年になった今でも、スポーツゲームで対戦したりケンカもします。ケンカは、すごい事になります。でも、普通の人には障害を持った弟に手を出す兄はなかなかいません。何故僕は、弟の事をはいたりする。それはもちろん「普通の兄弟」だからです。弟をもつ兄の人や、兄をもつ弟の人は、ケンカして、遊んで、笑ったりしますよね。僕たち兄弟もその中の一つです。弟は、僕がバスケットゲームで上手いプレーをすると、必ずとっていいほど真似して失敗します。そんな弟を僕は、「できなくても仕方ないか。」と思わずに、「なんで出来ないんだよ。」とかばわずにけなします。そして、やり方を教えます。そして、出来るとうれしそうに何度もやり続けます。僕の弟は、この世で一人しかいない「僕の弟」です。僕と弟、この二人で兄弟です。どちらかが違ったら、兄弟ではありません。僕たち二人で、「初澤家」の「兄弟」なのです。僕たち兄弟の笑い声は家中に響きわたります。今日も、明日も、明後日もずっと…。